

～我が家の男女共同参画～

男女共同参画社会という言葉をよく耳にするようになった。その言葉どおり男女がお互いを尊重し合い、性別に関係なく個性と能力を十分発揮できる社会のことである。そんな理想とする社会が実現すれば、精神的にも時間的にもゆとりが生まれ、心穏やかに暮らしていける・・・はずである。

そこで、我が家の男女共同参画はどうなのか？検証してみた。

数年前に私がある病で入院するようになったことがきっかけで、家に一人残る夫に炊飯器や洗濯機などの電化製品の使い方やゴミ出しの曜日など、最低限の家事を伝えて何とか乗り切った経験がある。

改めて考えてみると、共働きであるにも関わらず家事全般は女である自分が担ってきた。人権感覚を磨くことの大切さを推進する立場でありながら、家庭内で実践出来ていなかった。恥ずかしい限りである。ただ、これの大きな要因は単に夫が非協力的だったとは言えず、夫自身自分が家事の担い手の一人であるという意識の低さと、この私自身も夫に任せるより自分がやった方が早い！と考えていた節がある。

現在は風呂掃除とゴミ出しは夫が欠かさず担ってくれているが、将来の事を考えるとまだまだ改革が必要だと感じている。

まずは炊事・掃除全般・洗濯・ゴミ出しといった誰でも分かる家事でなく、日常的に行われているのに【家事】だと認識されていないものにスポットを当ててみた。

例えば、【料理の前に献立を考える】【資源ゴミに係る洗浄及びラベルはがし】【洗剤やシャンプー等の詰め替えやトイレトペーパーの補充】【洗濯物をたたむ&アイロンがけ】【食器類の洗い物の拭き取り及び食器棚に戻す作業】等々。今回【名もなき家事】というものを明らかにすることで、夫に気づいて欲しかったのである。

その中から、決して押しつけにならず『これならやれる！』と言ってもらえるよう夫婦のパートナーシップを築いていくのが目標であり、我が家なりの男女共同参画を達成していきたいと思っている。

